

地域未来創造室

地域未来創造委員会

委員長／野口 丈介 副委員長／三上 隆広 委員会幹事／紀國 隆介
委員／朝倉 友和 岩崎 一生 島津 悠 菅原 さつき 中浜 昭二
福西 秀幸 福原 祐介

1 2016年度の地域未来創造委員会は、北海道新幹線が3月26日に開業を迎えたこと
2 でこの転換期を機に函館の将来が活気に満ち溢れた街になるためにも、開業効果を一時的
3 なもので終わらせるのではなく、長期的に持続する意識を持つことで地域活性化の原動力
4 となるよう活動に取り組んで参りました。

5 3月例会「YES we can」～私たちがやらなければ誰がやる～では、新幹線開
6 業効果を持続させるために積極的に行動していく意識を高めることを目的とし、1部では
7 メンバーが今後開業効果を一時的ではなく長期的に持続させる意識を持つきっかけとなる
8 よう、函館市が現在まで行ってきた取り組みや、他の開業した地域の活動や開業後の検証
9 などを委員会メンバーがプレゼンにて伝えました。2部では公益社団法人金沢青年会議所
10 2015年度理事長北村宜大氏と函館市企画部新幹線対策室田畑聡文氏をお招きして、北
11 村氏には北陸新幹線の開業までに取り組んできた活動やその中での意識の醸成、さらには
12 開業して1年経過した現状や継続している取り組みをお話していただきました。また、田
13 畑氏には札幌延伸が2030年に決まったことから、経済波及効果や観光を起点とした展
14 望など様々な取り組みや目標を立てて行動に移していかなければならないことをお話して
15 いただきました。これによりメンバーには地域の魅力を最大限に発信し続け地域の活性に
16 つなげていくことが必要なことを伝えました。また、新幹線開業効果を持続させるために
17 積極的に行動していく意識を高める必要性も伝えることが出来ました。

18 委員会活動委員会活動「行くべ！新幹線」～魅力出発進行～では、新幹線開業効果を長
19 期的に持続させていくために函館の魅力を存分にPRし来函を促すきっかけを与えること
20 を目的とし、PR活動を実施いたしました。PR活動は、函館市経済部と一緒に埼玉県桶
21 川市にあるベニバナウォーク桶川にて行い、函館に対する印象・新幹線開業に対する印象
22 を元にアンケートやインタビューを実施し2日間で延べ220名にアンケートをいただき
23 ました。また、新幹線がつながることで函館へ行く利便性が増すことや函館が観光等での
24 選択肢の一つになることまた、函館の魅力も伝え函館への興味を高めることができました。
25 さらには、青年会議所のネットワークを最大限に活用して新幹線沿線上の東北・北関東の
26 各地青年会議所の方にアンケートをいただき、北海道新幹線が開業したことで函館に対す
27 る印象や魅力を再確認することができました。

28 3月例会と委員会活動を通して今後、函館青年会議所メンバーが同じ目的意識を持ち、
29 行政と方向性を同じくし地域の先導者となって函館の魅力を発信し続け、さらには地域の
30 未来発展のために開業時である今だけではなく、長期的に持続する意識を今後も持ち続け
31 地域活性化の原動力となり邁進していかなければなりません。